



# 夏のいっしょにHalloween



## 椿峰学童クラブ

### 大富豪ブーム

今年も猛暑日が続いた夏休み。行きたくても外に行けないため、室内で過ごす日が多かったです。一日が長いのでじっくりと楽しめるあそびが人気でした。そんな中ひとときを熱を帯びていたのは大富豪です。言わずと知れたトランプゲームの殿堂ですね。火付け役は四年生の女の子。「大富豪やってんの？やるやるー！」と五、六年生も参加します。久々だったので、「こんなだったよなー」と色々と思い出しながらも夢中になってあそんでいました。



楽しい雰囲気を見て、食いつきが良かったのは二年生男子たち。次々に「やってみたい！」と挑戦します。ですが相手は低学年の頃から鍛えられた猛者：そう簡単には勝たせてもらえません。「うあーなんでー!?!」

「また負け

### 泥だんごに夢中

たー！」と悔しがる二年生の姿を見て「見せてみて。ああ弱いカード残してたら勝てないよー、強いカードにしないと」「8ギリを使うと良いよ」など猛者たちがアドバイスしてくれ、回数を重ねるごとに少しずつ勝てるようになっていきました。

## 若狭学童クラブ

途中入所した子は「児童館ではこうだったよ」と話しながら、まずは他の子たちが遊んでいる様子を見つつ慣れて行きました。一人でやるのが不安な子は「一緒にやって」と、はじめのうちは指導員と一緒にあそびつつ入れるように。負けず嫌いの子は一度大富豪から離れてしまいました。が、「あの子達だっけいきなり強くなったわけじゃない、何回かやっていくうちにコツをつかむものだよ」と伝えると、練習を積んで少しずつ自

八月の暑い日、外で遊びたいう子どもたち数人と、公園の日陰で泥遊びをしました。水の入ったペットボトルで砂を湿らし、手足を泥だらけにしていざ泥だんご作り。中には表面を磨いてつるつるの泥だんごに仕上げている子もいて、「保育園の頃からよく作ってたの」と得意げです。周りにいた子も「すげー!」「どうやって作るの?」と大盛り上



がり。「砂をこうやってまぶして、ひたすら(表面を)みがくんだよ」と泥だんごを上手に作る二人が他の子に作り方を教えてくれました。みんな、教えられた通りに泥だんごを作っていく、気づくと二十個近い泥だんごが公園の隅に並べられていました。その数の多さは圧巻です。また、せっかく作ったつるつるの泥だんごを壊してしまうのはもったいない、という子には家に持ち帰れるよう袋に入れて保管しました。保護者が



信がついていきました。おうちで家族と一緒に楽しんでいる子もいます。大富豪を通じて良いなと思ったことは、普段あまり関わらない子ども同士が繋がったことです。ついついもう一回!ってなるところも魅力的ですね。今では子どもたち同士で誘い合って毎日のように楽しんでいきます。

# 新人紹介



若松学童クラブ

中田恭平さん

愛称 きょうちゃん

- ① ペーゴマ改造
- ② 「毎日楽しみにしながら来られる学童」をつくっていきけるように精一杯頑張ります！大きくなった子どもたちの記憶に残っているような指導員になりたいです。
- ③ 特技、スマホ知識



宮前学童クラブ

遊馬葉月さん

愛称 はづちゃん

- ① 鬼ごっこ、フランク
- ② 子どもたちのような探求心と、楽しむ心を持って、子どもたちの安全、安心を守っていきます。子どもたちにとって、安心して過ごせる環境を作っていくけるよう、精一杯頑張ります！末永くよろしくお願ひいたします！
- ③ 特技 ダンス

好きなこと 折り紙



北秋津ゴロニヤンクラブ

滝沢菜緒さん

愛称 なおちゃん

- ① お絵描き
- ② まだまだわからないことばかりで不安な時もありますが、子どもたちと一緒に成長出来たらと思っています。初心を忘れず、子どもたちに負けない子ども心を持って頑張ります！
- ③ 特技 韓国語

好きなこと 推し活

- 新人職員アンケート
- ① 子どものころ好きだった遊び
  - ② 意気込み
  - ③ 特技、好きなこと

学童クラブの会は、今年も「所沢市民フェスティバル」に参加します。

10/26(土)27(日)  
所沢航空記念公園  
「ダンボールめいろ」



ここでやっているよ！

「ペーゴマ教室&大会」

26日(土)12:30~15:00  
27日(日)10:00~14:30  
対象:小学生 入場無料

あそびにきてね！！

教室 26日(土)13:00~15:00  
大会 27日(日)受付開始 12:15~  
大会開始 13:00~  
ペーゴマ大会は子どものみの参加



# おやつは補食

子どもにとって放課後の時間帯に栄養面や活力面から必要とされるおやつを適切に提供する。

おやつは補食としての役割があることから、昼食と夕食の時間帯等考慮して提供時間や内容・量等を工夫する。

子どもにとっておやつは補食としての役割とともに、気分転換をし、遊びや活動のもとになる活力を充実させる働きがある。

おやつ時間は子ども同士が一緒に和やかに楽しむひと時。

(放課後児童クラブ運営指針解説書より)

私たち職員は、おやつは補食(第四の食事)と位置づけ、メニューを考え、子どもたちに提供しています。おやつは子どもの成長においてとても大切なものです。子どもは必要な栄養を三度の食事だけでは補えないため、食事と食事の合間に軽い食事で補います。

食事なので同じような食材のものを提供するが補食としての本来の姿です。決して菓子だけではないのです。

子どもたちに学童のおやつは「お家に帰るまでお腹が空かないように、元気に大きくなってね」という気持ちでだしているから、色々食べてくれたら嬉しいな。でももし苦手なものがあるときは無理に食

べてと言わないから『これは苦手だから』と教えてくれたら大丈夫だよ』と話しています。

「食は私たちが生きていく上でのエネルギーの源であり細胞を作るための要素。脳が心が本来の働きをするのに必要な栄養素をきちんと食事とることが大切であることを意識をし、おやつを提供しなればいけない」と先輩職員から教わってきました。

乳幼児期に獲得した味覚は一生ものというほど、いろいろな味を経験することで味覚が広がります。子ども時代に会おう食材こそがその後の人生を大きく変えることになるかもしれません。

私たちが提供しているおや

つが、子どもの人生にかかわる一つになれば嬉しいなと思いつながら日々メニューを考え、準備しています。

## 手作りおやつをつくろう

安松学童クラブ 松崎史織

「コロナ感染拡大が収束したら絶対手作りおやつを作りた」とずっと思っていました。おやつ時間は、一日の流れの中でほっと一息つけて、次の活動に向けての活動の源であり、補食として第四の食事だと考えています。

コロナが明けたら何をつくらうかと、「これから作っていきたいおやつ」をメモ用紙



に書きだして、常に見える場所に貼っておきました。また、手作りおやつを始める前には、まな板、包丁、おたまなど、新品の調理器具を用意しました。

手作りおやつが解禁になったから一番初めに作ったのは「冷やしうどん」でした。「うどんっておやつなの?」というくらい手作りおやつから離れていた子どもたちにとって



学童クラブの会のHPIはこちらから!



はうれしかったようです。量や温度、後片付けのことも考えながら、メモにあったものを半年くらいかけて作っていました。メモの中で一番反響があった手作りおやつは「いちごチョコ大福」でした。「ただいま。今日はなんかいい匂い」「味見と合わせて四杯食べた」「おいしかった」と子どもたちの笑顔で満たされるおやつ時間を今後目指していきます。



日高 由子 指導員

北地区 地区長

若松学童クラブ

北地区は指導員の人数が少ないのですが、その分それぞれのクラブや指導員の個性などが感じられる地区です。

地区長として意識していることは、みんなが楽しく仕事ができるかな、ということとです。みんなが話しやすい

雰囲気大切にしています。些細なことでもわからないことは聞ける雰囲気大事だと思っています。

クラブでは子どもに「ゆうちゃん」か「ゆうこ」と呼ばれています。子どもたちからは困ったときは何とかしてくれる、と思われている、とかそう思っているかと思って保育しています。

指導員になって良かったことは、人とのつながり、子どもたちの成長を見られること、感じられることです。大きくなってくると嬉しく思います。学童にいた子ども同士が交際を始めた、という報告をしに

来てくれることもあります。

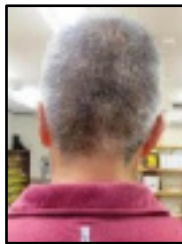
子どもたちが大人になってから、お酒を飲みながらその当時の学童の様子や、こんなことを感じてた、などと話をする機会もあり、なんだか不思議な感じです。保護者以外の立場で、子どもたちの成長を身近に感じられる指導員をやってよかったな、と思います。指導員として「大切にしていること」は、クラブの方針でもある「子どもたち一人一人が自分らしくいられること」です。それぞれ個性があり、そのままの子どもたちを受け止めたい、と思っています。

学童保育はこうあって欲しいと思うのは、人と人とのつ

ながりです。保護者と子ども、

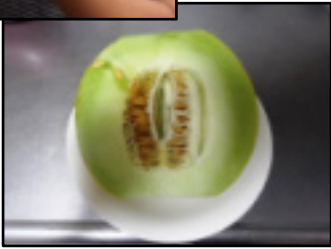
保護者同士、保護者と指導員、自分子どもも学童にいる子どもも一緒に成長を感じられたいいな、と思っています。子どもたちにはこの先、自分らしく、そのままの自分を大切にしていってほしいです。みんな違って当たり前です。保護者のみなさん、日々お仕事大変だと思えますが、息抜きを見つけてながらお互い頑張りましょう。

つる人



おぼろげマンガ

この夏、こ～んなに好きなメロンが学童でとれました!!



いただきます～す♡



こ、これは…



きゅうりなのか…うり!?

まだかし早かったようです…

難しい

編集後記

今年も日々記録更新の猛暑の中、子ども達の健康に配慮しつつ、保育に専念してきた様子が伝わってきました。

椿峰学童クラブの「大富豪」の様子、若狭学童クラブの様子、若狭学童クラブの「泥団子づくり」の様子から学童保育ならではの異年齢の関わりあいの面白さ、夏休みだからこそ醸し出された子ども達の姿などを感じていただけたら有難いです。

夏休みも終盤に差し掛かると、毎年のように次の歌が思い浮かびます。

「秋来ぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬる」藤原敏行(古今和歌集)

秋が来たとはっきりとは見えないけれど吹く風の音に秋を感じ驚かされるという解釈です。自然を肌で感じるという意味合いだけでなく、人間の成長についても同様だと感じさせられます。成長は子ども達だけでなく万人に当てはまるのかもしれない。

たっぷり関わられた夏休みを経て二学期。これから子ども達の成長した姿に感動する日々を楽しみたいです。

(前野)